

全日中事務局だより

◆第1回Web理事会後に行われた情報交換会では、テーマ「コロナ禍における生徒の不登校・自殺等に関する課題と対策」と題し、全国六ブロックに分かれて行いました。

【テーマ設定理由】は、「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う全国一斉臨時休校等に伴い、令和二年度において自死をした児童・生徒は初めて四〇〇人を超えるとともに、小・中学生の不登校は一九万人以上と、いずれも過去最多となった。

極めて憂慮すべき状況にある中、各都道府県や学校がどのような取組を進め、これに対応しているのかを共有することは、学校経営に役立つものと考えられる。」との提案により行われました。情報交換の内容につきましては、すでに、全日中のホームページに掲載していますので、ご一読いただければ幸いです。

◆今後、開催される各理事会の際には毎回テーマを決め、情報交換会を開催する予定です。

第2回のテーマは、「新たな観点別学習状況の評価による評価の実態と精度向上に向けた取組」といたしました。

【テーマ設定理由】は、「新学習指導要領では求められる資質・能力が三つの柱で整理され、学習評価は『知識・技能』『思考・判断・表現』『主体的に学習に取り組む態度』の三観点に変わった。特に『主体的に学習に取り組む態度』の評価については、これまでの『関心・意欲・態度』の評価方法等の反省を受け、趣旨に沿った評価が求められている。

変更後、一年半を経過した時期における評価の実態や精度向上に関する取組を共有することは、新しい時代に必要となる資質・能力の育成を改めて考える上で役立つものと考えられる。」となっています。

第三回のテーマは、「日本型学校教育における『子供の学びと教職員を支える環境』の状況」といたしました。

【テーマ設定理由】は、「社会全体のデジタル化・オンライン化が急速に進む中で、ICT環境の整備に伴う指導・支援の充実、校務の効率化が進められている。

そのような中、『生徒の学びの姿』『ICT活用に伴う生徒への影響』『教職員の業務の効率化』についての情報を共有し、令和の日本型学校教育の構築に向けた現状と課題を把握することは、学校経営に役立つものと考えられる。

※ブロックごとに、『生徒の学びの姿』『ICT活用に伴う生徒への影響』『教職員の業務の効率化』のうちから、事前（第二回情報交換の際）に重点項目を一項目に絞って実施する。」となっています。

◆毎回の情報交換を通して、各地域ならではの課題や全国に共通する課題、

一方、様々な実践事例を通して、全国の校長先生方が、一人ではなく皆で情報を共有することで、自らの学校経営に対して自信と確信をもてるよう、全日中ではホームページで会員の皆様に、広く公開して参ります。

◆六月六日にスポーツ庁は「運動部活動の地域移行に関する検討会議 提言」少子化の中、将来にわたり子供たちがスポーツに親しめる機会の確保に向けて」を発表しました。すでに内容について、把握されていると思います。

今回の提言では、運動部活動を地域に移行するにあたり、地域のスポーツ団体等の整備充実について、スポーツ施設の確保をはじめ、当初から課題となっていた大会の在り方、さらに会費や保険の在り方にも言及しています。

さらに、部活動を学校から完全に切り離すため、学習指導要領や高校入試、そして教員の採用選考・人事配置を含む関連諸制度の在り方にまで言及

しています。

一方、この地域移行を絵に描いた餅にならないよう、全ての都道府県に対して、令和五年度から三年間を運動部活の改革集中期間として位置付け、この期間中に地域移行に向けた具体的な取組やスケジュール等を定めた推進計画を策定すること、また、それを基に各市町村においても推進計画を策定することを規定することが適当であると提言しています。

今後、各学校には、様々な情報や指示が該当教育委員会等から発出されてくると思われれます。そのときになつて、慌てることのないよう、各校長会でも学校としてどうしていくのか、保護者や生徒にどのように説明し、理解を得ていくのか、具体的に検討していくことが求められてきます。

すでに、地域によつては該当教育委員会において、検討委員会を設置して、検討が進んでいるところもあると

聞いています。一方、全く検討委員会も立ち上がっていないという声もお聞きしています。

いずれにしても、校長同士の情報共有がこれほどまでに重要なことになる時代が到来していることは事実だと思います。

何か指示を待っているという姿勢ではなく、学校の経営者集団である校長会から積極的に教育委員会等に対して提言していく校長会の姿勢が望まれます。

会員計報

北海道室蘭市立本室蘭中学校長
松山周司様 五十七歳 五月二十八日
北海道美深町立美深中学校長
松原敏美様 五十五歳 五月三十日
北海道中標津町立中標津中学校長
志道 仁様 六十歳 五月三十一日

謹んでお悔やみ申し上げ、ご冥福をお祈り申し上げます。

(事務局員 富士道正尋)